

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	統合医療総合講座3	講義	4	80	臨床医学総論 臨床医学各論 東洋医学臨床論ほか
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
3学年	今田 裕久 森井 健司	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	はり師・きゅう師の臨床に役立つ科目間の横断的な解釈を当科目の目標とするため、臨床経験のある者を担当に配置する。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>臨床医学総論後半部分収載の「主な症状の診察法」の内容について、各愁訴に対応する診察・治療を覚える。愁訴を軸にした学習を通して解剖学・生理学・病理学・臨床医学各論・東洋医学臨床論の復習をも兼ねる。実技などの相互施術などにおいて総合的に疾患の病態把握や治療計画を立てられるようになることを目指します。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>未履修部分に対する講義や履修済みの復習を実施するとともに、問題演習を実施。各愁訴の理解においては常に解剖学・生理学・病理学・臨床医学各論・東洋医学臨床論などの教科書から必要な内容を復習するよう努めてください。 国家試験において必要となる基礎知識の復習であるのはもとより、科目間を横断的に見通す力が臨床における診察力の基礎となることを踏まえて多科目の復習に基づく愁訴の理解をしてください。</p>					
教科書・参考書					
<p>教科書:解剖学、生理学、臨床医学総論、臨床医学各論、東洋医学概論、東洋医学臨床論 その他:これまでに配布された各授業の資料など 予定表中のテーマ欄には主として取り扱う教科書該当項目とページ数を記載した。</p>					
受講時留意点、その他					
<p><b>【 全科目受講時共通事項 】</b>※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。</li> <li>● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。</li> <li>● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。</li> <li>● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。</li> <li>● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。</li> </ul> <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡しして下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 いったん配布した資料の再配布は、資源節約の観点から原則として行いません。なお、これに伴い配布した資料の控えと欠席者分の未配布資料については、当該年度内に限り職員室で保管いたします。授業中に受け取れなかった場合は担任もしくは授業担当者に授業時間外に相談して下さい。紛失等で再配布を希望する場合は、控えを貸出いたしますので当日中に自己負担で複製下さい。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験を前期と後期の最低2回実施。難易度は国家試験相当として、合格基準を正答率60%以上とする。問題形式は4者択一の他に、必要に応じて他の形式も出題することもある。			
その他	0	追加で成績加算対象となる課題や試験を実施する場合は都度事前に告知する。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		10主な症状の診察法01頭痛 182-184(3)		/	今田
2		10主な症状の診察法02顔面痛 185-185(1) 10主な症状の診察法03歯痛 186-186(1)		/	今田
3		10主な症状の診察法04眼精疲労 187-187(1)		/	今田
4		10主な症状の診察法05鼻閉・鼻汁 188-188(1)		/	今田
5		10主な症状の診察法06めまい 189-190(2)		/	今田
6		10主な症状の診察法07耳鳴り 191-191(1) 10主な症状の診察法08難聴 192-192(1)		/	今田
7		10主な症状の診察法09咳・痰 193-194(2) 10主な症状の診察法10息切れ(呼吸困難) 195-198(4)		/	今田
8		10主な症状の診察法11動悸 198-200(3) 10主な症状の診察法12胸痛 200-202(3)		/	今田
9		10主な症状の診察法13腹痛 203-206(4)		/	今田
10		10主な症状の診察法14便秘 206-208(3) 10主な症状の診察法15下痢 209-211(3)		/	今田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		10主な症状の診察法16月経異常 212-212(1) 10主な症状の診察法17不正性器出血 213-213(1)		/	今田
12		10主な症状の診察法18排尿障害 214-214(1) 10主な症状の診察法19乏尿・無尿 215-216(2) 10主な症状の診察法20多尿 217-218(2)		/	今田
13		10主な症状の診察法21浮腫 219-222(4)		/	今田
14		10主な症状の診察法22肩こり 223-224(2)		/	今田
15		10主な症状の診察法23頸肩腕痛 224-226(3) 10主な症状の診察法24肩関節痛 226-226(1) 10主な症状の診察法25上肢痛 227-227(1)		/	今田
授業外で試験実施					
16		10主な症状の診察法26腰下肢痛 228-229(2) 10主な症状の診察法27関節痛 229-231(3)		/	今田
17		10主な症状の診察法28運動麻痺 231-232(2)		/	今田
18		10主な症状の診察法29食欲不振 232-234(3) 10主な症状の診察法30肥満 234-236(3) 10主な症状の診察法31やせ(るいそう) 236-238(3)		/	今田
19		10主な症状の診察法32発熱 239-241(3)		/	今田
20		10主な症状の診察法33のぼせ・冷え 241-242(2) 10主な症状の診察法34睡眠障害(不眠) 242-243(2)		/	今田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		10主な症状の診察法35疲労・倦怠 243-244(2) 10主な症状の診察法36発疹 244-246(3)		/	今田
22		10主な症状の診察法37ショック 246-247(2) 10主な症状の診察法38出血傾向 248-249(2)		/	今田
23		10主な症状の診察法39易感染性 250-250(1) 10主な症状の診察法40貧血 251-252(2)		/	今田
24		10主な症状の診察法41眼振 252-252(1) 10主な症状の診察法42口渇 253-253(1)		/	今田
25		10主な症状の診察法43嗝声 254-254(1) 10主な症状の診察法44嚥下困難 255-255(1)		/	今田
26		10主な症状の診察法45血痰・咯血 256-257(2) 10主な症状の診察法46胸水 257-258(2)		/	今田
27		10主な症状の診察法47悪心・嘔吐 259-261(3) 10主な症状の診察法48吐血・下血 262-264(3)		/	今田
28		10主な症状の診察法49意識障害 264-266(3)		/	今田
29		予備 (後期試験実施を予定)		/	今田
30		予備 (試験その他の都合で延期となった分に充当)		/	今田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		内分泌疾患 A.下垂体疾患			森井
32		内分泌疾患 B.甲状腺疾患			森井
33		内分泌疾患 C.副腎疾患			森井
34		復習			森井
35		整形外科疾患 G.脊髄損傷			森井
36		整形外科疾患 H.外傷			森井
37		整形外科疾患 I.その他の整形外科疾患			森井
38		復習			森井
39		国家試験対策①			森井
40		国家試験対策②			森井
後期試験(授業外実施)					